

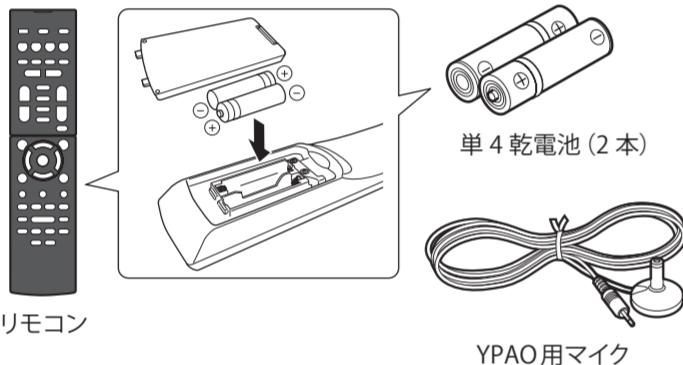
- ご使用の前に「取扱説明書」の「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- 本書では、基本的なスピーカーシステムを設置して、本機でBD/DVDのサウンド音を再生するまでの手順を案内しています。説明にはRX-V581のイラストを使っています。「RX-V581のみ」のように機種が明記されていない内容は、RX-V481も共通です。詳しい説明は、別冊の「取扱説明書」をご覧ください。
- 本書と「取扱説明書」のPDF版を以下のウェブサイトからダウンロードできます。
<http://download.yamaha.com/jp/>

AV SETUP GUIDE



「AV SETUP GUIDE」はAVレシーバーとテレビ、プレーヤーなどの再生機器との接続、スピーカーとの接続をわかりやすくガイドするアプリです。詳しくは、App StoreまたはGoogle Playで「AV SETUP GUIDE」を検索してください。

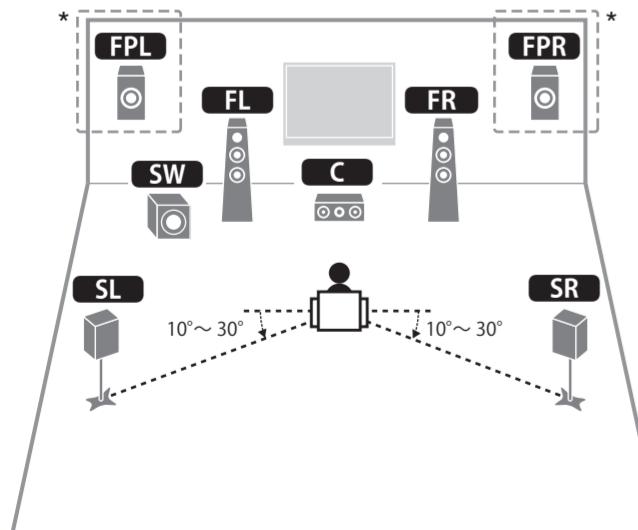
1 本書で使う付属品



本書の説明どおりに接続する場合、以下のケーブルを別途ご用意ください。

- スピーカーケーブル(スピーカーの本数分)
- モノラルピニンケーブル(1本)
- HDMIケーブル(3本)
- ネットワークケーブル(1本)(ルーターと有線接続する場合)

2 スピーカーを配置する



図を参考にスピーカーを配置してください。

- FL フロントスピーカー(左)
- FR フロントスピーカー(右)
- C センタースピーカー
- SL サラウンドスピーカー(左)
- SR サラウンドスピーカー(右)
- FPL フロントプレゼンスピーカー(左)*
- FPR フロントプレゼンスピーカー(右)*
- SW サブウーファー

* RX-V581のみ

3 スピーカー/サブウーファーを接続する

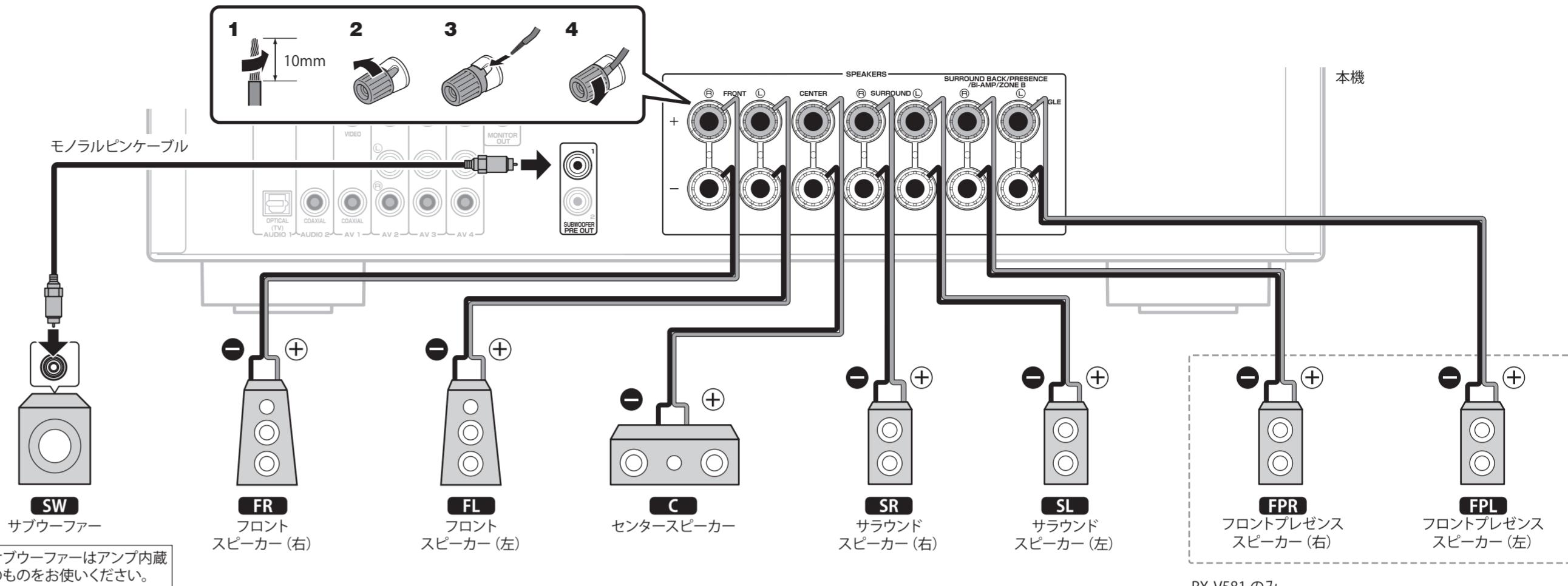
スピーカーを接続する前に、本機の電源プラグをコンセントから外してください。また、サブウーファーの電源を切ってください。

スピーカーケーブル接続のご注意

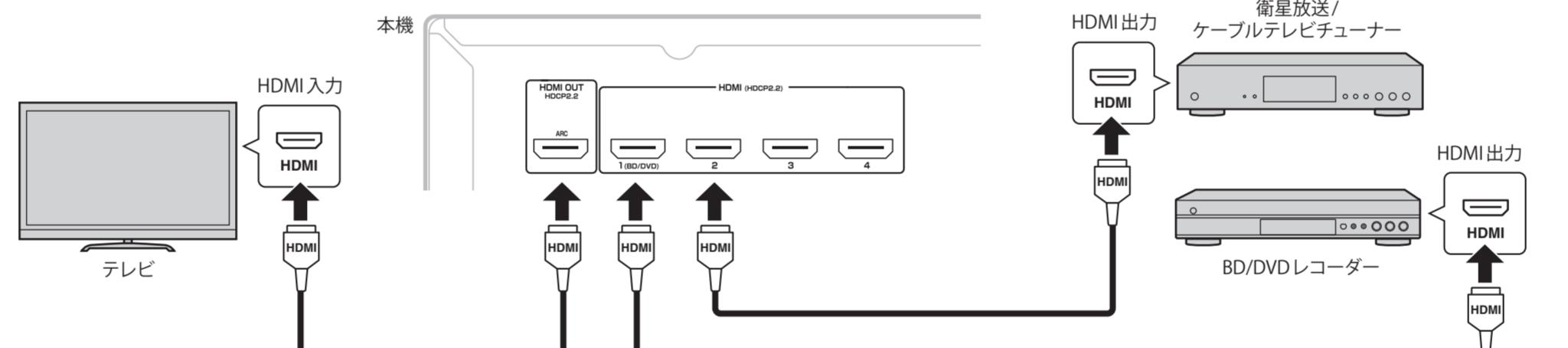
正しくない方法で接続すると、スピーカーケーブルがショートし、本機やスピーカーが故障する原因となります。

- 芯線の先端をしきりよう
- 芯線どうしを接触させない
- 芯線を本機の金属部(背面のパネル、ネジ)に接触させない

電源を入れて前面ディスプレイに「Check SP Wires」と表示された場合は、電源を切り、スピーカーケーブルがショートしていないか確認してください。



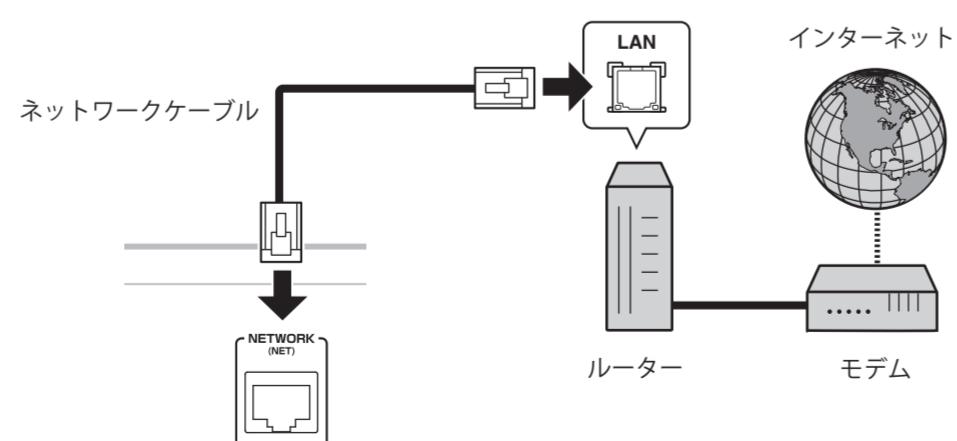
4 外部機器を接続する



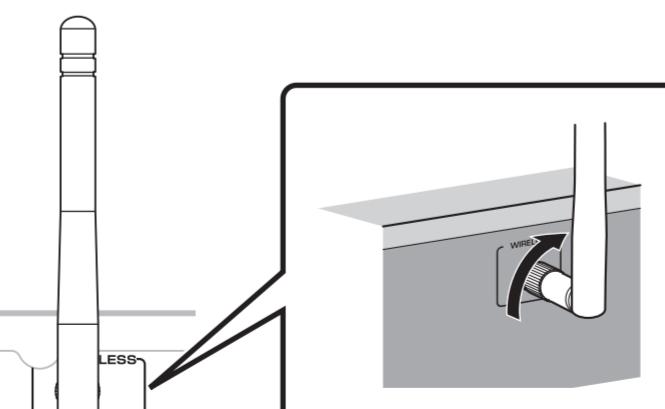
5 ネットワークに接続する

お使いのネットワーク環境に合わせて、**a**有線ネットワーク、または**b**無線ネットワークに接続します。

a 有線ネットワーク



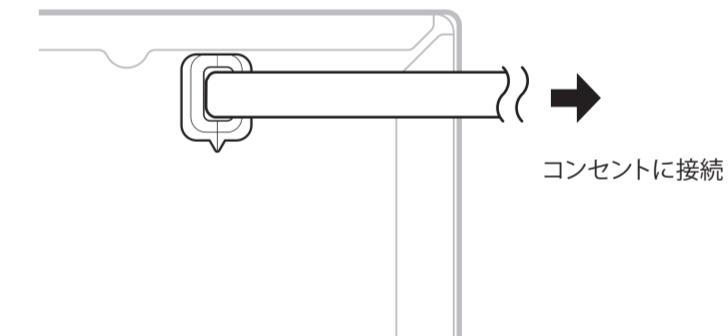
b 無線ネットワーク



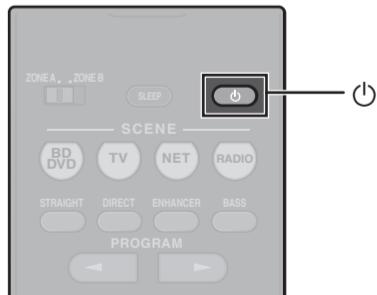
無線アンテナを立てます。
(無線ルーター(アクセスポイント)への接続は、手順⑦で行います。)

!
無線アンテナに極端な力を加えないでください。破損するおそれがあります。

6 電源コードを接続し、本機の電源を入れる

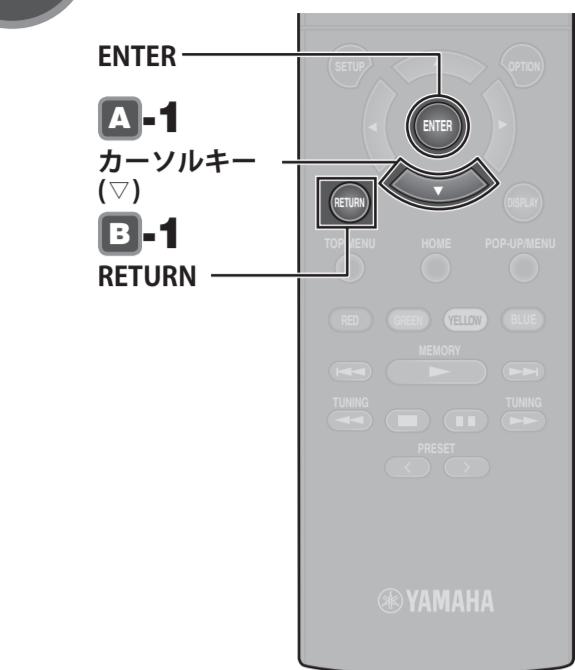


1 Ⓛ(レシーバー電源)キーで本機の電源を入れる。



2 テレビの電源を入れ、テレビ側の入力を本機(HDMI OUT端子)からの映像に切り替える。

無線ネットワークに接続する



- 本機とルーターをネットワークケーブルで接続している場合は**(5-a)**、手順**8**に進んでください。
- 以下の方以外でも、MusicCast CONTROLLERアプリを使って簡単にネットワーク設定ができます。詳しくは、別冊の「MusicCast セットアップガイド」をご覧ください。

ご購入後はじめて本機の電源を入れると、ネットワーク設定画面(イラスト**c**)がテレビに表示されます。この画面が表示されるまで数十秒かかることがあります。

(画面に表示されているWACは、Wireless Accessory Configurationの略です。)



この画面が表示されない場合は、設定メニューから無線ネットワークを設定してください。詳しくは、取扱説明書の「ネットワークに接続する(無線接続)」をご覧ください。

ここでは、以下の接続方法を説明しています。

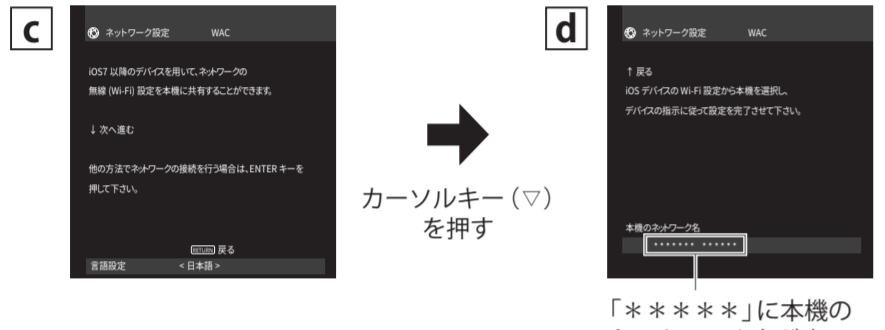
- iOSデバイスを使って無線ネットワークに接続するには**A**の方法をお試しください。
- WPS対応の無線ルーター(アクセスポイント)に接続するには**B**の方法をお試しください。
- A** **B**以外の方法で無線ネットワークに接続する場合はENTERキーを押し、画面の案内に従ってください。

A iOSデバイスの設定を共有する

お手持ちのiOSデバイス(iPhone/iPad/iPod touch)*のネットワーク設定を本機に適用して、簡単に接続することができます。

*iOS7以降を搭載したiOSデバイスが必要です。

設定を始める前に、お使いのiOSデバイスが無線ルーター(アクセスポイント)に接続されていることを確認してください。



カーソルキー(▽)を押す



「* * * * *」に本機のネットワーク名が表示される

- ネットワーク設定画面(イラスト**c**)がテレビに表示されたらRETURNキーを押す。
- 本体前面のINFO(WPS)キーを3秒間押し続ける。

B WPSボタンを使って設定する

無線ルーター(アクセスポイント)のWPSボタンを押すだけで、簡単に接続することができます。

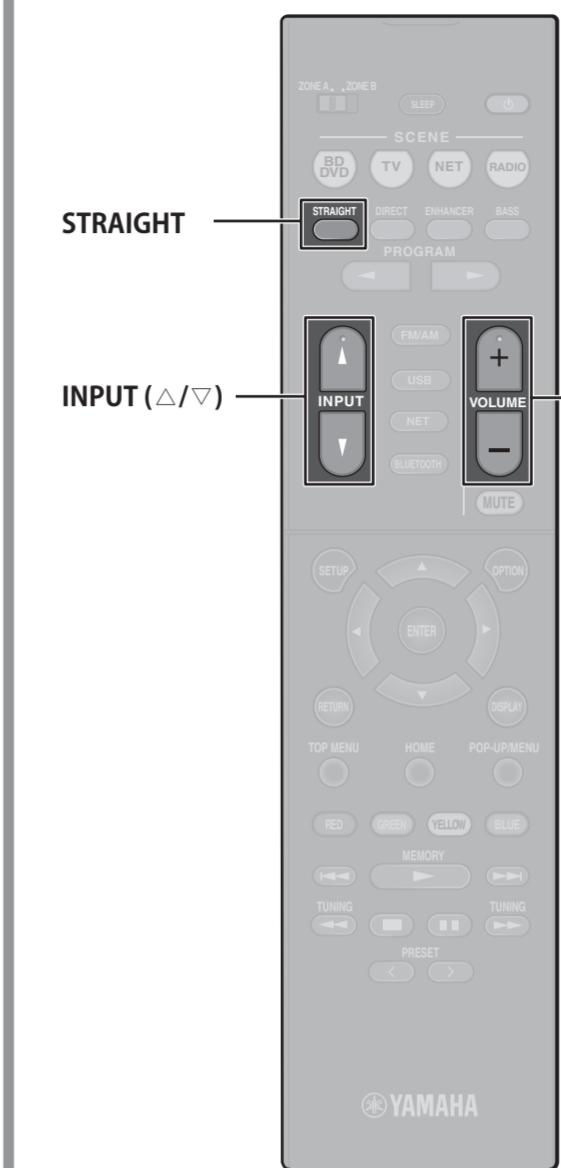
- ネットワーク設定画面(イラスト**c**)がテレビに表示されたらカーソルキー(▽)を押し、本機のネットワーク名が表示されていることを確認する(イラスト**d**)。
- iOSデバイスのWi-Fi画面で本機をAirPlayスピーカーに設定し、「次へ」をタップする。

以降は、iOSデバイスの画面の案内に従って操作します。



「Not connected」と表示された場合は、手順1からやり直すか、別の接続方法をお試しください。

BD/DVDを再生する



実際にBD/DVDを再生してみます。

サラウンド感を体感するために、マルチチャンネル音声(5.1ch以上)が収録されているディスクの再生をおすすめします。

- BD/DVDレコーダーの電源を入れる。

- INPUT(△/▽)キーを繰り返し押して、本機の入力を「HDMI1」に切り替える。

接続した機器によっては、「BD Player」などのように名称が表示されます。



- BD/DVDレコーダーでBD/DVDを再生する。

- STRAIGHTキーを繰り返し押して「STRAIGHT」を選ぶ。

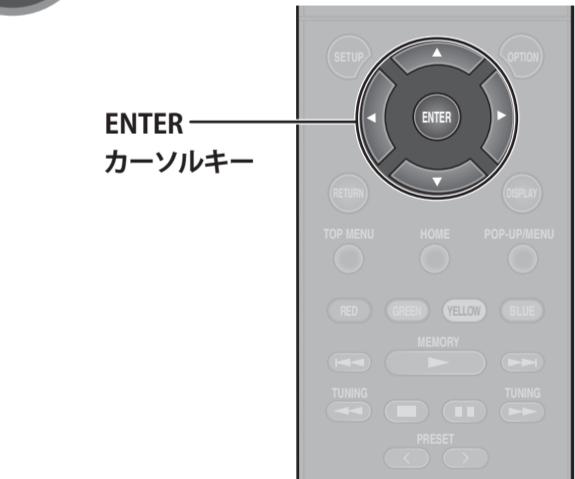
「STRAIGHT」(ストレートデコード)を選択すると、ディスクに収録されている各チャンネルの音声が各スピーカーからそのまま出力されます。本機の音場効果はかかりません。

- VOLUMEキーで音量を調節する。

これで基本的なスピーカーシステムを設置して、本機でBD/DVDのサラウンド音を再生するまでの手順は完了です。

フロントスピーカーからしか音が出ない場合や、音の出ないスピーカーがある場合は、「取扱説明書」の「故障かな?と思ったら」をご覧ください。

8 スピーカー設定を自動で調整する(YPAO)



付属のYPAO用マイクを使って、スピーカーの接続や視聴位置との距離を検出し、音量バランスや音色などのスピーカー設定を自動で調整します(YPAO: Yamaha Parametric room Acoustic Optimizer)。

YPAO使用時は次のことご注意ください。

- テレビやスピーカーの接続が終わってからYPAOを実行してください。
- 測定中は大きな音が出力されます。小さなお子様がいらっしゃる場合は十分にご配慮ください。
- ヘッドホンは接続しないでください。

- サブウーファーの電源を入れ、音量を半分に調節する。クロスオーバー周波数を調節できる場合は最大にする。

- 付属のYPAO用マイクを視聴位置に置き、前面のYPAO MIC端子に接続する。

テレビに次の画面が表示されます。



YPAO用マイクを視聴位置(耳の高さ)に置きます。三脚などをマイクスタンドとしてお使いください。三脚のネジを使ってマイクを固定できます。

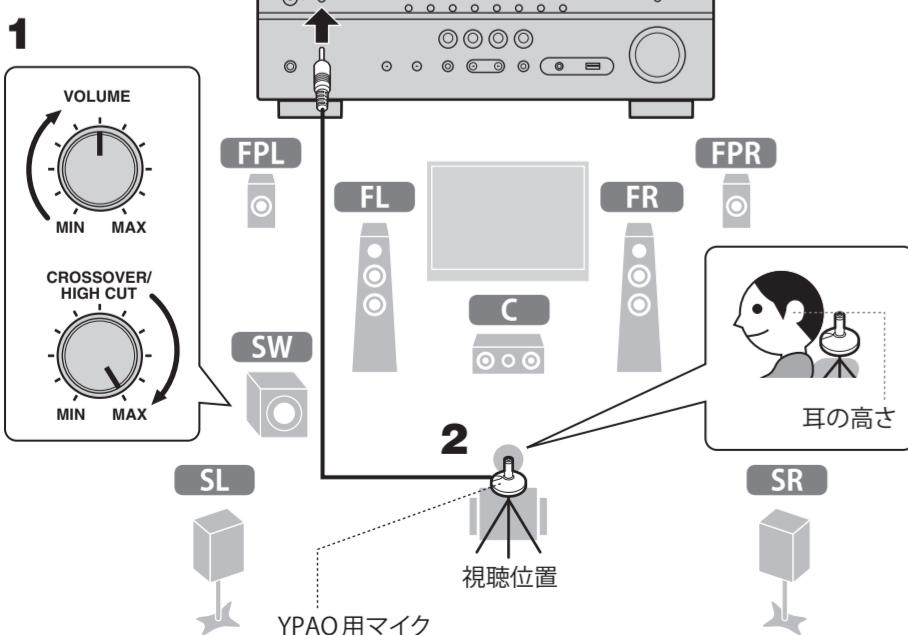
- 測定結果を確認し、ENTERキーを押す。

- カーソルキー(△/▽)で「保存」を選び、ENTERキーを押す。

- YPAO用マイクを本機から取り外す。

これでスピーカー設定は完了です。

基本的な操作



- ENTERキーを押す。
- 10秒後に測定が始まります。所要時間は約3分です。測定が終わると、テレビに次の画面が表示されます。



エラーメッセージ(E-1など)や警告メッセージ(W-2など)が表示された場合は取扱説明書「スピーカー設定を自動で調整する(YPAO)」の「エラーメッセージ」または「警告メッセージ」をご覧ください。

- 測定結果を確認し、ENTERキーを押す。

- カーソルキー(△/▽)で「保存」を選び、ENTERキーを押す。

- YPAO用マイクを本機から取り外す。

本機には、さまざまな音場プログラムやサラウンドデコーダーが備わっています。視聴する内容に応じて、お好みのサウンドを選べます。

STRAIGHT : 音場効果をかけずに、オリジナルチャンネルの音声をお楽しみいただけます。

DIRECT : 最低限再生に必要な機能を除き、各種の回路(前面ディスプレイなど)が停止されます。これによりノイズの混入を防ぎ、原音により忠実な音質で再生できます。

ENHANCER : BLUETOOTH機器やUSB機器などの圧縮音源に音の深みと広がりを加えます。

BASS : より豊かな低音をお楽しみいただけます。

PROGRAM(△/▽) : 映画、音楽に適した音場プログラムや、ステレオ再生を選びます。

入力選択と同時に、あらかじめ登録した内容をワンタッチで選べます(シーン機能)。

購入時の各SCENEキーの入力と音場プログラムは以下のように登録されています。

SCENEキー	入力	音場プログラム
BD/DVD	HDMI 1	Sci-Fi
TV	AUDIO 1	STRAIGHT
NET	NET RADIO	7ch Stereo
RADIO	TUNER	7ch Stereo

